

呼吸困難、虚脱、痙攣を経て急速に死にいたりします。

急性例では、突然の高熱、一時的な興奮の後、沈うつ、よろけ、痙攣、反芻の停止、呼吸困難、痙攣、死へと続きます。妊娠中の場合は、流産することもあります。体の自然孔からは、出血性の排泄物が見られることもあります。

慢性例では、局在性の皮下組織における広範囲な浮腫性の腫脹が起こります。好発部位は、頸部腹側、胸部、肩甲骨部です。

体内では、血液の凝固性が悪くなり、著明な浮腫と口腔や鼻腔、肛門から出る暗赤色の血液が認められます。全身いたる所に出血性壊死性炎症病変が見られます。内出血は、とくに腹部や胸膜、心内膜、心外膜に認められ、赤色の滲出液が、さまざまな臓器、骨格筋、皮下組織に存在します。出血は、胃腸粘膜によく起こり、とくにパイエル板上に潰瘍病変が見られます。脾臓は、肥大して、暗赤色または黒色を呈し、軟らかくて半流動体状になっています。炭疽とは、この脾臓の黒色病変が語源の由来になっています。肝臓、腎臓、リンパ節は、うっ血して肥大します。

MATERIAL

炭疽菌に感染した羊の黒色に変化した脾臓から採取した血液、炭疽菌に感染したウサギの肝臓病変から採取したもの

FIRST PROVING

このレメディは、正式にはブルーピングされています。1831年に獣医師のDr.Guillaume Luxが、牧場農家に炭疽病の治療を依頼されました。同年に、Dr.Constantin Heringが、Psorinumを疥癬症患者の病変からつくったことにヒントを得て、同様にNosodeを30cでつくり、臨床の現場で使用したのが最初になります。

MIND

Anthracinumの感受性タイプは、非常に落ち着きがなく、激しく焼けるような痛みから衰弱し、意気消沈しています。症状が進行すると、死を覚悟するほどに疲労困憊します。呼吸も浅く弱く、困難になり、意識もうろうとしてきます。喉も非常に渇きますが、ほとんど飲み込むことができません。

CLINICAL APPLICATIONS

Anthracinumは、皮膚病や重度の感染症や敗血症に役に立つレメディです。以下のような適用があります。

■ 感染症

- ・ 重度の敗血症：焼けるような炎症性病変があります。
- ・ 炭疽病
- ・ 脾脱疽
- ・ 壊疽、脱疽
- ・ 蜂巣炎性膿瘍
- ・ 耳下腺炎

■ 皮膚（一般的に激しく焼けるような炎症があり、皮膚が黒色や深い青色になっています）

- ・ 炎症性の腫れもの、吹き出物
- ・ 皮膚潰瘍
- ・ 湿疹
- ・ 手のひび割れや癬皮

RELATIONS

- ・ Antidoted by : Camphora, Arsenicum album, Rhus toxicodendron, Silica, Lachesis, Carbo vegetabilis, Pulsatilla, Kreosotum, Carbo licum acidum, Salicylicum acidum, Apis
- ・ It follows well : Arsenicum album, Phosphoricum acidum
- ・ Followed well by : Aurum muriaticum natronatum（下顎骨膜の炎症）、Silica（蜂巣炎）

Antimonium crudum 三硫化アンチモン Sb_2S_3 [食べすぎによる消化不良]

Antimony trisulfide- Sb_2S_3

BACK GROUND

Antimonium crudumは、輝安鉱の結晶体として産

出されます。この輝安鉱 Sb_2S_3 は、金属光沢をもつ斜方結晶のSbアンチモンの硫化鉱物です。主な産地は、



日本、中国、ルーマニア、ボルネオなどがあります。世界最大の輝安鉱は、日本の愛知県市ノ川鉱山産で明治時代に産出されたもので、長さ60cmを超える美麗な巨大結晶です。通常の結晶は小さく、長いものでも10cmくらいです。

硬度は2と軟かくて、爪で押しでも傷ついてしまうほどです。曲げることもできます。融点も低く、ろうそくの火でも溶けてしまいます。この美しい結晶は、長時間空気に触れることによって、銀灰色の表面がだんだんと黒色に変化していきます。

人類が古くから利用していた鉱物で、エジプト王朝や旧約聖書にも記録されています。古代ギリシアやアラビアの女性たちは、この結晶の粉末をアイシャドウに使っていました。エジプトのクレオパトラも愛用していたと言われています。

Antimoniumの由来は諸説ありますが、ギリシア語ではアンチとモノス（単独では見つからない）の意味に由来するという説が有力のようです。

アンチモンの単結晶は、銀白色の金属で、元素周期表の上下にある砒素とビスマスとともに、半金属と言われています。半金属は、半導体に近い性質をもっています。また、毒性も砒素のように強く、100mgで中毒症状を起こします。

輝安鉱の英語名Stibniteは、その金属的光沢からギリシア語のStimmi（金属）、ラテン語のStibi（金属）に由来しています。

医療では、かつては低用量で去痰薬、高用量では催吐薬として、また動物では、馬の蹄の外傷治療薬として使われたほか、豚や牛を太らせる目的で使用されていたようです。現在では、減摩剤、塗料、花火、玩具用火薬、擬砲弾、楽器などに用いられています。

アンティモニーは、炭水化物の代謝、カテコールアミン、そしてSH基をもつ多くの酵素などに影響を与えることがわかっています。

MATERIAL

輝安鉱の結晶体を炭素とともに焙焼して取り出したアンティモニー

FIRST PROVING

ハーネマンとDr.Caspari（1828）

MIND

Antimonium crudumタイプは、よく豚のレメディと言われています。肥満で血の気が多く、消化器系や皮膚の疾患に罹りやすい体質をしています。ふだんはおとなしくて、穏やかで、理想主義者です。ただし、高貴な感じはなく、どこか荒々しさをもっています。服も个性的で派手で、髪を染めたり、変わった場所にピアスをつけたりすることもあります。

空想も好きです。非常に繊細で感情的です。感情的すぎてヒステリックな女性の場合もあります。生きていく上で、この理想や空想と現実のギャップに苦しむことになります。

性的なことにも興味があります。愛に関しては、理想的な考えをもっていますので、失恋などでは深刻に落ち込んでしまうことがあります。このときには、自分の世界に引きこもりがちになります。たとえば、失恋したときに、このタイプは潜在的に敵愾心^{てきがいらしん}を抱くことがありますので、自分自身に対しても、相手の人に対しても怒りを感じてしまいます。怒りをもつことで、より自分自身が動揺してしまう傾向があります。そして、絶望感と自己嫌悪感を抱きます。このタイプは、このような状況下でも恋愛や性的欲望を失うことはありません。

自分自身に満足していないので、他人に見られたり、触れられたりすることに耐えられなくなります。とくに、月光の下で感傷的になる傾向があります。

通常、食事が大好きですが、人によってはまったく食欲がない例もあります。感情を内在することで精神的なバランスのくずれを引き起こし、過食（ときに食欲不振）が起こります。食べるという行為によって、内在するストレスを解消しようとしませんが、同時に自分を罰することにもつながってしまいます。そのため、胃腸障害という形で顕在化してきます。

一般的には、酢やきゅうりの漬物が大好きです。喉はあまり渴きません。寒さには非常に敏感なのですが、ストーブやヒーターの熱で病気が悪化します。太陽の熱でも悪化します。

Antimonium crudumタイプの子供は、太っていて、紅潮したほっぺをしています。落ち着きがなく、不機嫌で、すねています。他人に触られたり、話しかけら

れたり、見られるのさえ嫌います。診察室に入っても、親の背後に隠れてしまいます。医師に見つめられるのを嫌います。誰かに優しくされても、怒る傾向があります。

AFFINITY

Antimonium crudumは、とくに消化器系、皮膚、精神に親和性をもっています。

CLINICAL APPLICATIONS

消化器系

- ・舌苔：舌の上面が、牛乳やチョークを塗ったように白く厚くコーティングされています。舌の端は、赤く痛みがあります。
- ・過食と下痢：酸っぱい物や酢の物、パン、豚肉、肉の加工食品などで下痢や消化不良を起こします。これらの食品は、食後具合が悪くなるにもかかわらず、欲しがります。これらの食品のアレルギーからくる下痢や夏に起こる下痢に、体質が合えばよく使用されます。硬い便も混ざっていることがあります。
- ・下痢と便秘：下痢と便秘が交互に起こることがあります。便秘のときは便が硬くて、排便にかなり力みます。便の半分が硬くて、半分が下痢の場合もあります。
- ・消化不良：不摂生な食生活や食べすぎによります。おくびがよく出ます。母乳を吐いてしまい吸収できない赤ちゃんにも使用されます。
- ・吐き気：頭痛のときや飲物を飲んでいるとき、不摂生な食生活で悪化します。吐いてもあまり楽になりません。
- ・上腹部の痛み：ショックや感情的ストレスに起因します。
- ・歯痛：通常、虫歯による持続的な歯痛で、痛みが頭部に広がることもあります。夜や冷たい水で悪化します。散歩で少し楽になります。



皮膚

- ・膿痂疹、吹き出物、フルンケル、小膿疱
- ・湿疹：暖房の熱や入浴、ベッドの温かさで悪化します。分泌液を含んだ水疱が鼻や口の周りに斑状にできます。皮膚はひび割れて剥けることがあります。ジクジクしたかさぶたのある湿疹が頭皮にできてかゆくなり、脱毛することがあります。
- ・いぼ（疣贅）：とくに手や足底にできます。角質の硬いいぼです。
- ・爪の肥厚とひび割れ：爪が脆弱で、黒ずんで、簡単に割れてしまいます。
- ・皮膚の硬化：しばしばひび割れを起こします。
- ・水疱瘡
- ・角化症：掌と足の裏にできます。足底のいぼ、魚の目やたこ

呼吸器系

- ・咳：暖かい部屋に入ると咳が出ます。胸部に焼けるような感覚があることがあります。慢性的に喉や胸がむずがゆいこともあります。痰は濃く黄色。

精神神経系

- ・頭痛：他の症状に随伴して起こります。消化不良、過度の飲酒、冷水浴などがきっかけにもなります。

その他

- ・関節炎：とくに指の関節、小関節が炎症を起こして赤く腫脹します。
- ・足の痛み：足の裏と踵に圧痛がありますので、歩くことによって悪化します。しばしば足先が冷たく感じます。

MODALITY

- ▶ 外気、休息、湿気のある温かさ、温かいお風呂など
- ◀ 夜、冷水浴、冷水、冷たい空気、湿った寒さ、月光、階段を上ること、触られること、夏の暑さ、太陽の熱、食べ過ぎ、飲み過ぎ、不摂生な食事、酢、豚肉、運動など

RELATIONS

- ・ Antidote to : 虫刺され
- ・ Antidoted by : Calcarea carbonica, Hepar sulphur, Mercurius, Bryonia
- ・ Complementary : Squilla, Sulphur
- ・ Follows well : Ipecacuanha, Pulsatilla
- ・ Followed by : Pulsatilla, Mercurius, Sulphur

●主なAntimonyのレメディ

Aethiops antimonialis, Antimonium metallicum,

Antimonium arsenicosum, Antimonium crudum, Antimonium fluoratum, Antimonium iodatum, Antimonium muriaticum, Antimonium natrum lacticum, Antimonium nitricum, Antimonium oxydatum, Anti-

monium sulphuratum rubrum, Antimonium sulphuratum aureum, Antimonium tartaricum, Calcareo stibiato sulphurata, Kali sulphuricum, Vitrum antimonii

Antimonium tartaricum 酒石酸アンチモニルカリウム [気道の白くネバネバした粘液]

Antimony potassium tartrate- $C_4H_4KO_7Sb \cdot 1/2H_2O$

BACK GROUND

Antimonium tartaricum は、酒石酸アンチモニルカリウムと呼ばれる無色、無臭の結晶または白色粉末です。古くから強力な吐剤として用いられており、吐酒石とも呼ばれています。この原料の核になるアンチモンは、周期律表でいうと砒素と同族で、性質もかなり砒素に似ています。天然には黒色の輝安鉱 (Sb_2S_3) として産出されています。空気中で強熱すると三酸化アンチモン (Sb_2O_3) となります。砒素の場合と違って温水にも溶けませんが、酒石酸水素カリウムの温溶液にはよく溶ける性質をもっています。この溶液を濃縮結晶化させたものが、酒石酸アンチモニルカリウムです。

この結晶はかつて、砒素と同様に殺人に使われていたことがありました。砒素の毒と症状が似ていますが、酒石酸アンチモニルカリウムのほうがより早く作用します。そのため、摂取した直後に毒物ごと嘔吐してしまうために、砒素ほど使用されることはありませんでした。

西洋では、医療に用いられていて回虫駆除や真菌症、原虫感染症カラアザールの治療などにも用いられていました。静脈注射による方法では、激しい嘔吐という副作用が伴いました。

Antimonium tartaricum の毒性は、さまざまな組織に及びますが、とくに粘膜への刺激と分泌促進はもっとも顕著です。また、心筋、肝臓、腎臓などの脂肪変性や皮膚の症状も起こります。中枢神経系にも大きく影響し、うつ状態の発現や活力の低下を起こします。

経口摂取では、まず口の中に金属味^{ただ}がして、口内、喉、食道、胃の粘膜が焼けるように爛れ、激しい嘔吐が止まらなくなります。下痢としぶりも起こります。めまいをはじめとする神経症状、心肺機能の低下、虚脱、摂取後12～24時間ほどで昏睡から死にいたりします。亡くなるまで皮膚は冷たいままで、ジトジトする

汗が出ています。

FIRST PROVING

ハーネマン, Stapf, Hencke ら

MIND

Antimonium tartaricum タイプは、見た目も病的で、エネルギーがなくて、疲れやすく、死にそうにも見えます。顔色は青く、眼は落ち窪んでいます。額には冷や汗をかきます。手足の先は、非常に冷たくなっています。呼吸もゼロゼロしています。そのため呼吸も弱く、気道の粘液がブロックしているので、酸素と二酸化炭素の交換が不十分になりがちです。体は冷たいのですが、暖めて締め切った部屋にいることを嫌い、窓を開けているのを好みます。窓を閉めていると、このタイプ特有の死者のような臭いがします。酸素不足のためいつも嗜眠状態でいることが多く、精神的にも落ち込んでいます。

イライラが強く、不安症で、人に干渉されることを嫌います。すべてのことが、精神的な重荷のように感じてしまいます。それでも1人になることを怖れます。病気に対する絶望感もあります。

子供の場合は、触られたり、じっと見られるのを嫌がりますが、抱っこされるのは好きで、他人の気を引いていると安心できます。

食べ物では、果物、とくにリンゴが好きです。牛乳は、気持ちが悪くなるので飲みません。喉は渴きませんが、酸っぱい飲料だけは好きです。水分をたくさんとると吐いてしまうのではないかと恐れ、少しずつしか飲みません。

AFFINITY

Antimonium tartaricum は、主に粘膜、迷走神経、呼吸器系、循環器系、胃腸、腰部、皮膚などに親和性